

日時 2018年7月13日(金) 13:05~13:55

場所 文学館 L-4 教室

出席者 矢野、高地、藤田、景山(書記)、北川、中村、佐藤(書記)

欠席者 松本

※副委員長以下アルファベット順・敬称略

<議事>

① 要求書項目について確認

2018年7月10日に私大教連の紅露さんと打ち合わせ(矢野委員長、北川さん書記)

- ・中高部では今年雇い止めが5人もいて、大変な状況→学院と大学で共同の要求を。
- ・要求を要求書と別に提出する。
- ・学院組合の委員長は賛成。ただし組合員の合意待ち。

>いつまでと期限を切って、単独ですか？

- ・過半数代表は絡まない。組合同士での共同で提出。

>時期の問題。

>5人の方はどういう役割の方々なのか？

- ・5年で雇い止めは1)現場で混乱、2)学生サービスの低下、ということがある。
- ・人件費は、無期にするだけで6年目からもそれまでの賃金で大丈夫。

>無期転換することの問題点って何ですか？と質問してみるのはいかか？

- ・経営側が無期転換することの課題を何だと思っているかを確認して、手を打っていく。

- (1) 職員の職務負担の改善を図るための適切な人員配置と計画を行うこと。
- (2) 総合職/一般職という制度導入後の課題を検討し、管理職に対しては、雇用形態と給与に見合った職務内容を割り振るよう指導すること。
- (3) 業務の継続性を確保し、専任教職員が働きやすい環境を維持するためにも、非正規教職員の雇止め制度を廃止すること。
- (4) 託児支援の利用(希望)者が利用しやすい託児支援制度を整備していくこと。
- (5) 大学教員については、現行就業条件を維持すること。
 - ・要求項目で必要十分か。→上記文言のみでいく

(6) 賞与を5.75か月に戻すこと。

(7) 適切な入試作問手当への引き上げ

② レクリエーション(日程・内容)について確認

- ・日曜日はずして、クルーズで。
- ・週末は人気なので、早めの予約を。もしランチクルーズなら名鉄観光に依頼する必要はないかも。
- ・11月17日(土)を第一候補、11月18日(日)を第二候補。
- ・ルミナス(長時間・明石大橋)、コンチェルト(短時間で音楽演奏あり)

- ・価格帯を少し高めのを狙ったら参加者もお得感
- ・家族の負担を無しにする？(お子さんであれば無料、非組合員はランチの半額想定で)
- ・バスはなし

以上